

令和3年度 第7回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2021.09.01 (水) 18:00-19:30

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 大谷 奥田  
金村 川口 小西 酒井 須田 中西  
西田 町野（書記） 宮腰 村上 大和 湯川（敬称略）  
欠席委員： 手束（敬称略）

**議事**

**1. 報告事項**

**(ア) 日本脊椎脊髄病学会理事会（2021年8月）：高相先生**

高相担当理事から理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. プリオン病の感染予防に関して厚生労働省からアンケートの提案があった。
2. 「プリオン病感染予防について周知・徹底のお願い」に準じて JSSR 本委員会からも JSSR 会員へ向けてプリオン病感染予防について周知・徹底について、既にニュースレターとホームページに掲載している。
3. 2021年3月31日の本委員会で中野島整形外科の山田浩司先生にレクチャー頂いた発表データを参考にし、新たにアンケートを行わず学会として注意喚起を行っていく。
4. 本委員会で進めているアンケート調査研究（酒井先生と手束先生の脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性についての研究、川口先生の脊椎手術における部位確認に関する研究）について、9月28日の JSSR 理事会において発表して頂く。

**(イ) 貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会アドバイザー）**

酒井先生から下記報告がされた。

1. プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班（厚生労働省）からヒアリングの依頼があった。
2. 中野島整形外科の山田浩司先生、弘前大学整形外科の和田簡一郎先生、徳島大学整形外科の酒井紀典先生の3施設でヒアリングを行う。
3. 3施設において事前の滅菌・洗浄、事後の滅菌・洗浄の実施について調査する予定。
4. リユースの有無調査について、ハイスピードドリル（特にダイヤモンドバー）の先端ディスプレイについて調査するか検討する。
5. 貸出器械（Loan Instruments）洗浄（プリオン病感染予防含む）に関しては、整形外科手

術全般に及ぶため、JOA 安全医療推進委員会を中心に今後対応していく予定。

6. プリオンと SSI を分けて検討し、本委員会委員の所属する各施設での貸出器械 (Loan Instruments) 洗浄について聴取する予定。

## 2. 検討・報告事項

### (ア) 脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：

#### 酒井先生、手束先生

手束先生に代わり今釜先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 9月28日のJSSR理事会においてアンケート調査結果をプレゼンテーションする。
2. アンケート調査結果を来年のJSSR学会で発表する予定。
3. アンケート調査研究の論文投稿先についても今後検討する。

酒井先生から下記報告がされた。

1. 7月26日のJOA安全医療推進感染対策委員会において、本委員会で進めている脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性についての研究結果を発表した。
2. 周術期抗血栓薬使用についてJOAでは独自のアンケートをせず、本委員会同様のアンケート調査をJOAから専門分野学会（日本人工関節学会と日本骨折治療学会など）へ要請予定。
3. 本委員会調査結果も含めた専門分野アンケート結果を、JOAでお纏め頂きJOAから循環器学会へ提示する予定。

### (イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生からアンケート調査結果について下記報告がされた。

1. 最終的に脊椎脊髄病学会会員1275名からアンケート回答が集まった。
2. 調査対象の指導医有無の割合、臨床経験年数、年間執刀数について。
3. レベル確認法、レベルを確認している人数、レベルエラー経験について。
4. 部位別エラー、疾患別エラー、エラーへの対応、エラーへの対策について。
5. 過去の症例と最近の症例に分けて検討する必要性について（小西先生）。
6. 術式別（固定術の有無）の検討について、術前全脊椎レントゲン撮影の必要性について（相澤先生）。
7. 手術部位、術式によって確認の仕方が異なることが今後の検討課題（湯川先生）。
8. エラーを複数回行う執刀医に特徴はないか（奥田先生）。
9. エラー回数と執刀回数の関係を解析することについて（今釜先生）。
10. エラーを経験した執刀医のレベル確認法に傾向はないか（中西先生）。
11. 今後アンケート集計結果を理事会や委員会で確認し、誤解を与えないような結果を脊

椎脊髄病学会会員へ注意喚起となるように纏めていく。

12. アンケート調査結果について9月28日のJSSR理事会で発表予定。
13. アンケート調査研究を来年のJSSR学会で発表する予定。

### (ウ) JSSR 統合型 DB 進捗状況：金村先生

金村先生から JSSR 統合型 DB 進捗について下記報告がされた。

1. JSSR-DB2021 ロードマップを供覧、システムのステージング環境を確認した。
2. JSSR-DB システムの完成状況は 85%。
3. プロトタイプを提示し、JSSR-DB 入力法について説明頂いた。
4. ステージング環境でダミー入力し、9月29日の次回本委員会までにフィードバックを行う。
5. レジストリ開始に当たり、会員情報であるマイページの登録施設の整理作業を行っている（登録医療機関、代表指導医）。
6. 西田先生から骨切りに関して、川口先生から術後感染症例の対応について、相澤先生から DB に関する指導医と再手術の定義についてご質問があった。
7. 11月に本登録開始（登録対象期間1か月、調査期間1カ月間）予定。

### 3. 次回、次々回委員会開催日

- ・約1ヶ月後のJSSR理事会開催後に予定（1時間の見込み）
- ・理事会が最終月曜日のため、月によっては月初の水曜日に予定
- ・【次回】2021.09.29（水）18時30分～
- ・【次々回】2021.10.27（水）18時30分～